

科目名称：	英語コミュニケーション I (美術学科)	
担当者名：	藺森 喜美	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>これまで学校で学んできた英語を基礎から復習しながら、日常英会話の基礎を学びます。旅の様々な場面別に重要フレーズを学習し、コミュニケーションに必要な英語力を身につけていきます。発音については発音記号をよく知り、それに基づいて正しく発音できるように練習をします。また、英文の構造についても、基本からゆっくりと理解できるように説明していきます。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>①発音記号を学び、発音記号を見て正しい発音をすることができるようになる。②CD等を聞き、リスニングの力を高める。また発音に注意を払いながら音読することで、英語の音を正しく発声する楽しさを体得する。③英語の基本的な文型について理解し、さまざまな演習を通じて英文を正しい語順で話したり、書いたりできるようになる。④実際の場面でよく使用される簡単な会話文が自然に口をついて出てくる。</p>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP (1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	○
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP (1)	50	20	10	20	100
全学DP (2)					0
全学DP (3)					0
全学DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容 (内容・経験年数を記載)	
なし		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 発音記号について概説。教科書 Chapter 1 Warm-up, Phrase1 ディスカッションをしながら進める。	シラバスを読み、授業の趣旨や概要をつかむ。Chapter 1のWarm-upとVocabularyについて調べ、解答をまとめておく。	40分
第2回 発音記号(母音)概説。教科書 Chapter 1 Phrase2, 3	Chapter1 Phrase1の英文を3回音読し筆写する。Phrase2, 3の英文を3回音読し内容を掴む。	40分
第3回 発音記号(子音)概説。教科書 Chapter 2 Warm-up, Phrase1 ディスカッションをしながら進める。	Chapter1Phrase2, 3の英文を3回音読し筆写する。Chapter2Warm-up, Vocabularyについて調べる。	40分
第4回 英文構造についての概説。教科書 Chapter 2 Phrase 2, 3	Chapter2 Phrase1の英文を3回音読し筆写する。Phrase2, 3の英文を3回音読し内容を掴む。	40分
第5回 基本的な文構造(1)。教科書 Chapter 3 Warm-up, Phrase1 ディスカッションをしながら進める。	Chapter2Phrase2, 3の英文を3回音読し筆写する。Chapter3のWarm-up, Vocabularyについて調べる。	40分
第6回 基本的な文構造(2)。教科書 Chapter 3 Phrase 2, 3	Chapter3 Phrase1の英文を3回音読し筆写する。Phrase2, 3の英文を3回音読し内容を掴む。	40分
第7回 基本的な文構造(3)。教科書 Chapter 4 Warm-up, Phrase1 ディスカッションをしながら進める。	Chapter3Phrase2, 3の英文を3回音読し筆写する。Chapter4のWarm-up, Vocabularyについて調べる。	40分
第8回 基本的な文構造(4)。教科書 Chapter 4 Phrase 2, 3	Chapter4 Phrase1の英文を3回音読し筆写する。Phrase2, 3の英文を3回音読し内容を掴む。	40分
第9回 中間小テスト。教科書 Chapter 5 Warm-up, Phrase1 ディスカッションをしながら進める。	発音、文構造、Chapter 1-4 の復習。Chapter5のWarm-up, Vocabularyについて調べる。	90分
第10回 教科書 Chapter 5 Phrase 2, 3 Chapter 6 Warm-up, Phrase1 ディスカッションをしながら進める。	Chapter5Phrase2, 3の英文を3回音読し内容を掴む。Chapter6 Vocabulary, Phrase1について調べる。	40分
第11回 教科書 Chapter 6 Phrase 2, 3 Chapter 7 Warm-up, Phrase1 ディスカッションをしながら進める。	Chapter6Phrase2, 3の英文を3回音読し内容を掴む。Chapter7 Vocabulary, Phrase1について調べる。	40分
第12回 教科書 Chapter 7 Phrase 2, 3 Chapter 8 Warm-up, Phrase1, 2 ディスカッションをしながら進める。	Chapter7Phrase2, 3の英文を3回音読し内容を掴む。Chapter8 Phrase1, 2について調べる。	40分
第13回 教科書 Chapter 8 Phrase 3 Chapter 9 Warm-up, Phrase1, 2 ディスカッションをしながら進める。	Chapter8Phrase3の英文を3回音読し内容を掴む。Chapter9 phrase1, 2について調べる。	40分
第14回 教科書 Chapter 9 Phrase 3 Chapter 10 Warm-up, Phrase1, 2, 3 ディスカッションをしながら進める。	Chapter9 Phrase3の英文を3回音読し内容を掴む。Chapter10 Phrase1, 2, 3について調べる。	40分
第15回 まとめ Chapter 5-10の会話文のロールプレイ。自作の会話文のプレゼンテーション。	Chapter 5-10の復習	120分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、指定範囲の音読練習をし、解答や筆写をノートにまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、50%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
小テスト 20%、課題 10%、授業中の言語活動の積極的参加 20%

課題に対するフィードバック

小テスト、課題プリントは評価し返却する。定期試験は、希望者に返却する。フィードバックシートで学修成果を伝える。

教科書・参考書

Simply Traveling Communication Anytime, Anywhere! (金星堂)